



臨検タイムス香川

一般社団法人 香川県臨床検査技師会 発行者：荒井 健

学術部長に就任して

長町 健一（高松赤十字病院 検査部）

この度、学術部長に就任しました高松赤十字病院の長町です。学術部長は香川県臨床検査技師会の学術活動をまとめる要職です。前任の横内さんをはじめ、香川県を代表する技師の方々が歴任してきました。私は病理細胞診研究班の班長を8年間務めてきたので、技師会の運営やこれまでの経緯について多少は把握していますが、各研究班をまとめて香川県の高い学術レベルを維持できるか不安です。ここでは、自分がやるべきことの再確認を兼ねて学術部の活動を紹介します。

学術部長の主な役割は三つあると考えています。一つ目は、各研究班が開催する研修会を支援することです。研修会の運営は、企画から開催後の報告までに多くの労力がかかります。班長・副班長からの意見や要望を収集し、円滑に運営できるよう改善する必要があります。また、今年度は自然災害による中止等の予期せぬトラブルも発生しているため、情報伝達が今後の課題だと考えています。二つ目は、実行委員長として香川県医学検査学会を開催することです。この学会は他部門の発表を聞くことができ、シンポジウムで各部門の取り組みや課題等を共有することができる貴重な学会です。多くの方々が参加して良かったと思えるような、実り多い学会を目指しています。三つ目は、香川県臨床検査技師会誌を発刊することです。論文の執筆は容易ではありませんが、学会発表した内容を再考して文章にすることで知識が深まり定着します。さらに、研究や検討の成果が学術業績として残ります。文献の検索や論文の書き方については、編集委員でもある各研究班の班長・副班長からもアドバイスを受けることができます。特に、若手技師の方は是非挑戦してください。

おわりに、冒頭では不安であると述べましたが、私にとって学術部長は目標とする存在でしたので、次世代に繋ぐという使命感もあります。まだまだ若輩ではありますが、香川県の学術発展のために会員の皆さまと一緒に取り組む所存です。今後ともご指導よろしくお願い致します。

学術部からのお知らせ

【平成29年度 認定資格取得者について】

香川県臨床検査技師会誌に平成29年度の認定資格取得者を掲載しますので、資格を取得された方は学術部までご連絡ください。次回受験者への情報提供が目的です。

【香川県臨床検査技師会誌 原稿募集】

香川県臨床検査技師会誌に「私の奮闘記」と題した特集を掲載します。日常業務や技師会活動などで皆さんが力いっぱい努力した内容をぜひ報告してください。もちろん論文や症例報告なども原稿募集中です。

「私の奮闘記」はA4段組み1枚程度で写真や図入りでも結構です。論文等の書式は香川県臨床検査技師会誌の投稿規定に従ってください。

連絡先：香臨技学術部 karingi.gaku@gmail.com

《研修会のご案内》

① 平成30年度 第2回 血液検査研修会

連絡責任者：杉 理恵 ☎ 087-811-3333

日 時：平成30年9月29日（土）13：00～16：00

場 所：香川大学医学部附属病院 検査部

内 容：初心者向け骨髓像の見方 丸本 浩二（四国中検）、渡辺 典子（高松赤十字病院）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

② 平成30年度 徳臨技・四県合同研修会（血液検査研究班）

日 時：平成30年10月21日（日）9：45～15：00

場 所：徳島大学病院西病棟11F日亜メディカルホール

内 容：基礎講座：「初心者からみた血液検査」 藤井 愛華（高知医療センターSRL検査室）

「初心者のピットホール」 岡林 実咲（高知医療センターSRL検査室）

「造血器腫瘍におけるフローサイトメトリー検査の基礎知識～報告書の見方を中心に～」

池亀 彰茂（徳島大学病院 診療支援部臨床検査技術部門）

症例報告：「症例1」 川野 広大（愛媛大学医学部附属病院）

「症例2」 竹内 彰浩（香川大学医学部附属病院）

特別講演：「がんと血栓症」 森山 雅人（新潟大学腫瘍内科）

教育講演：「法改正！血液検査室は何をすればよい？～ISO15189をお手本に～」

朝霧 正（高知大学医学部附属病院）

記念講演：「造血器腫瘍の分子学的発症機序と標的治療」

新家 敏之（愛媛大学医学部附属病院 検査部）

参加費：3,000円 生涯教育研修：専門20点

申込先：徳永 尚樹（徳島大学病院 診療支援部臨床検査技術部門）

期 限：平成30年10月9日（火）

備 考：詳細は別紙研修会案内もしくは日臨技HPをご確認ください。

*** 研修会の参加には、会員証を必ず御持参ください。**

注. 臨床検査技師免許取得の方で非会員の場合は、参加費として5,000円を頂きます。
尚、学生は無料。他職種の方は、会員と同額です。

* 研修会については、香臨技、および日臨技ホームページをご参照下さい。

* 急を要するお知らせがある場合は、メールアドレスへの一斉配信を行います。

スタッフ募集のお知らせ

大募集！

【全国「検査と健康展」】

日 時：平成30年10月20日（土）9：00～16：00

場 所：香川県立保健医療大学

申込先：小林 万代（海部医院）TEL 087-843-3666 Eメール kobaboobu0128@hotmail.co.jp

【平成30年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会】

日 時：平成30年11月23日（金）祝日 会場準備 13：00～17：00

11月24日（土） 学会運営 8：00～18：00

11月25日（日） 学会運営 8：00～17：00

場 所：サンポートホール高松

申込先：山本 直子（社会医療法人財団大樹会 総合病院回生病院 臨床検査部）

〒762-0007 香川県坂出市室町3丁目5-28

TEL；0877-46-1011(内線5544) FAX；0877-45-6838 E-Mail；kensa@kaisei.or.jp

平成30年度香川県臨床検査技師会新(再)入会会員研修会に参加して

真鍋 拓哉（社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院）

平成30年9月1日に香川大学医学部で行われた香川県臨床検査技師会新(再)入会会員研修会に参加しました。

今回の研修会で香川県内に勤めている臨床検査技師の方々から臨床検査技師の医療組織における役割や重要性、普段の業務に役立つ話を聞くことができ、これからの臨床検査技師としての自覚を持つことができました。

まず初めに、自分は日本臨床衛生検査技師会の掲げる方針に従い活動をしている各都道府県技師会の中の一人であることをあらためて認識しました。そして香川県臨床検査技師会の一員として自身の知識や技術を向上させることはもちろんのこと多くの県民や患者に接することで健康増進につとめたり、チーム医療に関わることが技師の認知度向上に繋がり、価値を高めることになるということを知ることができました。

過去の臨床検査技師の業務は、血液や尿など患者さんから離れた所で検査をすることが多く、直接患者さんと接するのは心電図や肺機能検査、脳波など限られたものでした。近年は、採血や鼻腔咽頭拭い液の検体採取など患者さんに接する業務が増えてきています。そのため、患者さんとのコミュニケーション能力も求められるようになってきました。また、チーム医療の精神の普及により患者さんへの検査内容の説明なども臨床検査技師が行うようになってきており、幅広い知識を持ち、わかりやすい言葉で患者さんに説明できるようになることが必要だと感じました。

臨床検査の精度管理には、検査施設ごとに行う内部精度管理と日本臨床衛生検査技師会などの団体が個々の検査施設を対象に広域に測定結果を調査する外部精度管理があります。全国多くの施設で、内部精度管理と外部精度管理の両面から万全の体制のもと検査精度の維持と向上に努めているということがわかりました。

医療現場では医療事故が起きやすく、小さなミスが大きなミスに繋がってしまい、業務の慣れからミスを引き起こしてしまうこともあります。日頃から基本の確認を怠らず、試薬の間違いや検体の保存方法の間違いなどがないように一つ一つ丁寧に業務を行っていくことを常に心がけていきたいと思います。

研究班活動では、検査の専門分野ごとに分かれており、それぞれ専門的な知識や技術の向上を目的とし、研修会などを定期的で開催されています。私は、一般検査を担当していますが、一般検査には、尿や便、体腔液など様々な種類の検体が持ち込まれており、正確かつ迅速に対応して行かなければなりません。それに対応していくには専門的な知識を習得する必要があります。そのためにも、研修会に積極的に参加して自分の知識や技術を高められるようにしたいです。

今回の研修に参加させていただき、臨床検査技師の心得や病院内での他職種の方々との連携が必要だということがあらためてわかりました。臨床検査技師として、正確な検査ができるようになることはもちろんですが、他の職種の方々ともコミュニケーションをとり、チーム医療に貢献できるように努力したいと思います。また今後、臨床検査技師も患者さんと接する機会が増えてくるようになると思います。患者さんは様々な不安を抱えて受診されています。検査を受けることが初めての方もいる中で、患者さんの立場に立ち、寄り添った対応をしていけるようになりたいと思っています。

今回の研修会で学んだことを生かして今後の業務に携わっていきます。また、一般検査以外の他の分野の研修会にも積極的に参加し、あらゆる知識を高めていきたいと思っています。

最後になりましたがお忙しい中、研修の時間を作っていただきありがとうございました。



(H30新人研修会)

第19回 香川県立保健医療大学 大学祭「橄欖祭」開催のご案内

田頭 実紗（第19回大学祭副実行委員長 臨床検査学科2年）

香川県立保健医療大学「橄欖祭」を今年は10月20日（土）に開催させていただきます。昨年に引き続き大学祭を開催できることを心より嬉しく思います。

今年のテーマは、「繋（つながり）」です。このテーマには、橄欖祭の開催によって学生同士のつながり、地域の方との結びつきを強めようという想い、そしてこの大学祭で得たものを来年の橄欖祭、さらには将来の自分たちの力として役立てるなど、次に繋がる大学祭にしていこうという決意がこめられています。

私たちは、将来現場で活躍できる医療従事者を目指し、日々勉学に励んでいます。看護学科と臨床検査学科で目指す職種は違いますが、地域に根ざした医療従事者になろうという目標は共通したものです。そのためには、机の上での勉強だけでなく、地域との結びつきが非常に重要です。地域の方との結びつきを強める方法には、地域活動やボランティアへの参加などがありますが、私はこの大学祭もその方法の1つだと考えています。

また、チーム医療が主流となっている今、他の医療従事者との結びつきは非常に重要です。橄欖祭では学科や学年関係なく、様々な学生と関わり、協力する場面が多くあります。普段の学校生活では交流の少ない他学科・他学年の学生と助け合いながら橄欖祭を創り上げていくことで、学生間に強い繋がりが生まれることを目標の1つとしています。

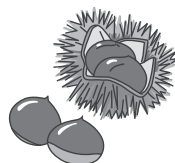
今年の大学祭は、ステージ企画では吹奏楽サークルによるステージ、のど自慢大会、軽音サークルによるライブ、4年生による合唱などを行います。また、香川県立高松北高等学校の応援部によるパフォーマンス、原クリーンハイツの皆さんによる盆踊りなどのステージも行われます。棟内では看護学科、臨床検査学科による骨密度測定やその他健康診断を無料で行います。中庭ではサークルによる焼きそばや焼き鳥、ソフトドリンクなどの模擬店、フリーマーケットも行います。

大学祭開催にあたり、何かと至らない点もあるかと思いますが、私たち実行委員、また学生一同互いに協力し合い、ご来場いただく皆様が満足していただけるような大学祭を開催するため日々努力しております。ご来場いただいた皆様に香川県立保健医療大学のことを知っていただくと共に、大学祭を楽しんでいただければ幸いです。より多くの方々が本学の大学祭に足を運んでくださることに期待し、私たちと地域の皆様、またご来場いただきました皆様が一つになって楽しむことができますことを心より願っております。

最後になりましたが、大学祭を開催するにあたって、ご協力、ご支援くださいました多くの方々、ならびに企業をはじめとする各所団体の皆様に心よりお礼申し上げます。

・ 編集後記 ・

10月20日（土）に香川県立保健医療大学で橄欖祭が開催されます。今年も、香川県臨床検査技師会の「検査と健康展」のブースが設けられ、本学の学生もお手伝いとして参加する予定です。また、学生による出店や出し物の準備が進められておりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。



森西 起也（香川県立保健医療大学）

～ 香臨技 求人情報 ～

現在、四国細胞病理センター、香川労災病院などからの求人があります。
詳しくは、香臨技ホームページをご覧ください。
求人募集依頼の連絡先：立石 謹也（福祉部長・香川県立保健医療大学）
アドレス：tateishi@chs.pref.kagawa.jp

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

Eメール：kobaboobu0128@hotmail.co.jp

***臨検タイムス香川は、香臨技ホームページで見ることができます。**

（ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001）

臨検タイムス香川 通巻 278 号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 山本 直子

【編集委員】 藤重 和久 十川 直美 森西 起也

【印刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ

平成30年9月印刷・発行